



夢よもつと  
ひろがれ

# 2021

## Annual Report

- 1.お部屋でイチゴ狩り
- 2.ムスカリ、みんなで日向ぼっこ
- 3.小旅行、かつ丼を頬張って幸せそうな笑顔
- 4.七夕飾りの前で
- 5.ハッピーウォークのメッセージボードの前で
- 6.「春が来たね」とタンポポを手に前川さん
- 7.フルーツの3人、バラに囲まれて
- 8.ご近所に満開の桜を見に行きました
- 9.ベンチに座ってお花見
- 10.色とりどりのストールと一緒に
- 11.商品のお届けも大切な仕事です
- 12.バストラル前のベンチで仕事の合間の休憩中
- 13.歩こう♪歩こう♪
- 14.四国山公園で散歩
- 15.音楽療法。大好きな時間です♪
- 16.細かく、丁寧に葉っぱをちぎります
- 17.「さざれ石公園」で花見
- 18.パレットのみんなで初詣
- 19.年度始めのいっしょり集合写真
- 20.お出掛け、コスモス畑でお花見をしました♪

- 21.散歩、いいリフレッシュだね！
- 22.協力してお仕事
- 23.仕事のあとの楽しいおしゃべり
- 24.堤防の桜を目指して散歩しました
- 25.はじめてのアート活動だね
- 26.自分たちで育てたかぼすを販売します
- 27.自慢のりすのほっぺの商品です
- 28.散歩ができない雨の日は、楽しくラジオ体操
- 29.採れたて新茶を早速試飲「おいしいね！」
- 30.満開の桜の下には染料にするタンポポがたくさん！
- 31.枝取りに集中している斉田さん
- 32.お土産に頂いたボン菓子を食べる味の研究
- 33.お昼休みに仲良く休憩中
- 34.自分たちだけのパンケーキ（盛りすぎ?!）
- 35.見てみて！おいしそうでしょ！
- 36.防災デーに向けてハッピーを着て動画撮影
- 37.道の駅パレットピアおおのにて可愛い傘の下で
- 38.1日2回のお水のやり。みんなで大切に育てています
- 39.新メンバーを迎え初写真。道の駅でお買い物
- 40.仕事中でもふたりの笑顔が見られてほっこり

- 41.ファミリーパークで仲良く散歩
- 42.くりくりの里にて和太鼓を力いっぱい打ちました
- 43.部屋でゆったりリラックス
- 44.冬の三年番茶の収穫。今年はよく積もりました
- 45.菜の花をバックに！手には菜の花で染めた作品が
- 46.他の部屋とzoomでつないで、仕事の紹介を聞きました
- 47.散歩の後のお茶休憩。「あーおいしいっ！」
- 48.朝の日課「仕事をはじめます！」
- 49.朝と帰りに顔を合わせて打合せをしています
- 50.毎月楽しみなクッキング。パフェおいしかったね
- 51.コスモス畑へお出掛け
- 52.音楽療法。リズムに合わせて手拍子♪
- 53.第二いぶきの防災デー。ロックソラン節を披露
- 54.明日の給食は何か？
- 55.パルーンの色・動き・風を感じています
- 56.ハンドベルの音色が心地いい！
- 57.今年度もお疲れ様。ビンゴゲームでもりあがりました！
- 58.焼き芋と焼きマシュマロは初めてです
- 59.友愛アリーナで運動を楽しんでいます
- 60.気持ちいい陽射しの下でほっと一息



## ごあいさつ

みなさん、お元気でお過ごしでしょうか。ようやくコロナ禍が終息するかと思いましたが、再び感染者が増加しています。今回のコロナウイルスの問題は、私たち人類が自然破壊ではなく、自然と共存して生きるべきこと、食料問題もエネルギー問題も、その延長線上で考えるべきことを示しています。

今から28年前の1994年7月に、いぶきは法人認可され、翌年4月、法人施設が開所しました。いぶきには、法人認可に先行して、約12年間の共同作業所の時代がありますが、これを加えると約40年の歴史を有します。みなさんのこれまでのご理解とご支援に感謝致します。

この1年間いぶきは、多分野において様々な取り組みをしてきました。私たちは、いぶきの1年間の活動を本書で報告し、その成果と問題点を明らかにしています。

本書が、みなさんとの更なる希望と連帯につながることを祈念します。

2022年7月吉日

社会福祉法人いぶき福祉会  
理事長 横山 文夫



## もくじ

- 2-3 ごあいさつ、いぶき福祉会とは
- 4-7 特集：ねこの約束はじまりと結び目の物語
- 8-11 いぶきの活動報告
- 12 新たなつながりと、生まれたプロジェクト
- 13 パートナーズボイス
- 14 数字で見るいぶき
- 15 2021年度財務報告
- 16 2022年度の取り組み
- 17 いぶきを応援
- 18-19 広告協賛



## 基本理念

どんな障害のある方も、生き生きと暮らしていける地域社会の実現を目指し、障害のある方自身とその家族、職員、地域の人々が、力を合わせて活動していきます。

- 1 労働を通して障害のある方の発達を保障していきます。
- 2 生活体験を広げ、人間らしく豊かな生活を目指します。
- 3 障害のある方の権利保障を追求していきます。



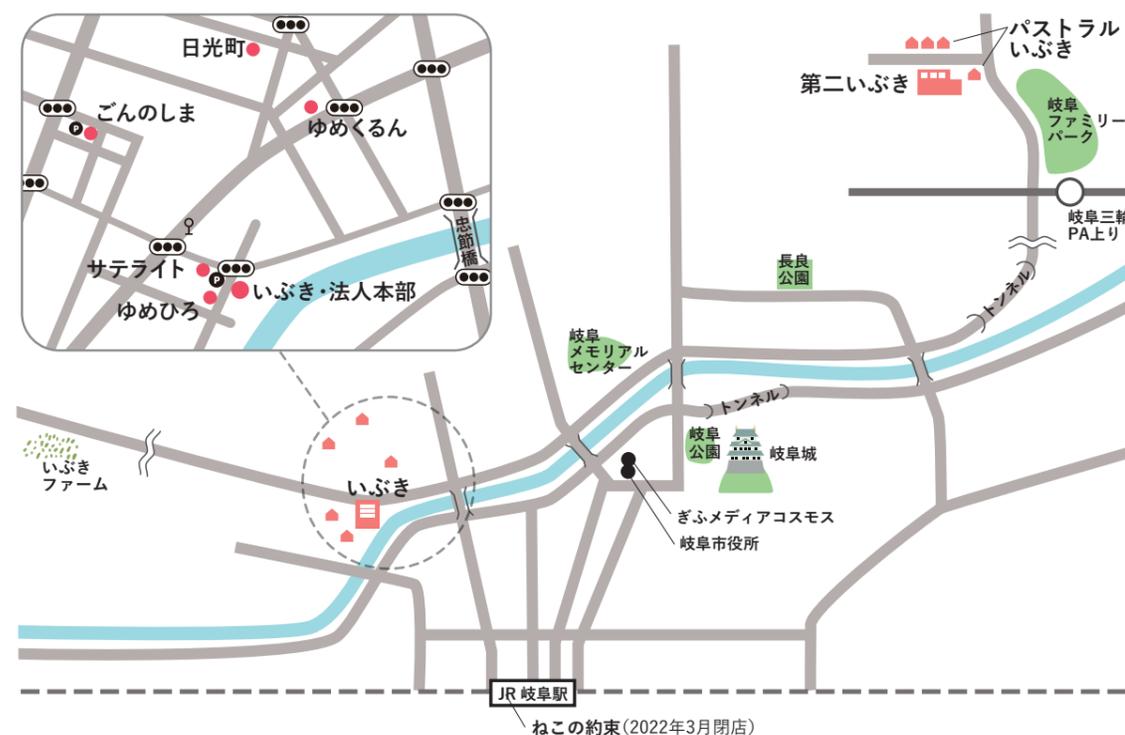
## 事業内容

### 障害福祉サービス事業

|            |     |        |
|------------|-----|--------|
| 就労継続支援B型   | 1カ所 | 定員20名  |
| 生活介護       | 6カ所 | 定員140名 |
| 放課後等デイサービス | 1カ所 | 定員10名  |
| 共同生活援助     | 3カ所 | 定員48名  |
| 計画相談支援     | 1カ所 |        |
| 短期入所       | 2カ所 | 定員6名   |
| 居宅介護       | 1カ所 |        |

●利用者数 通所150名 グループホーム47名  
(2022年4月現在)

## 事業所マップ



ねこの約束(2022年3月閉店)

# 12年間の感謝を込めて

北川 雄史

2022年3月29日。  
 私たちの自慢のお店「ねこの約束」が12年4376日の幕を閉じました。大切にくださった皆様に、心からの感謝とともに、あらためてご報告申し上げます。  
 ねこの約束は、2010年4月6日にオープン。招き猫マドレーヌとかりんとうを知り、私たちの活動に強く関心をもってくださった方との出会いがきっかけでした。障害福祉の制度が激変した2006年に①仲間の所得保障②人づくり、つながりづくり③重度重複障害のある人を支える実践④親なき後のこと、というテーマを掲げていた私たちが店を持てるなんて夢のような話。不安と期待が入り混じる中、「仲間たちの給料を増やしたい」「いろんな人知ってもらって、この街のあたり前の風景になりたい」そんな未来を描いて、思い切って踏み出した一歩でした。

それから12年。仲間たちは、納品に行くことを楽しみにし、きれいに並べられた商品をお客様が手にとってくださることが嬉しくてたまりませんでした。保護者や職員も、日常の中で、「ねこの約束知っているよ」と言ってもらえると、自分たちの活動が社会で認められているような気持ちになりました。この小さなお店を我がことのように大切に思い、希望としてくださった全国の福祉関係者ものづくりに携わる方々が本当にたくさんおられました。地域の方々は、障害のある人や、いろいろな生きづらさを抱える人のことを知り、思いをはせ、ともに暮らす仲間として一緒に考えてくださりました。ここがあったからこそ生まれたプロジェクトをあげるとキリがありません。

今回の閉店は、コロナと切り離すことはできません。でも、かねてから「ねこの約束」の第2章として、もうひとつの願いがありました。「仲間たちも活躍できる場所も一緒にあるといいね」「何もせずにたどることが許されたりする場所も居心地がいいよね」いろいろな人が出会い、対話が生まれ、ワクワクすることが始まって、商品も手にとってもらえるような新しい協働の場所をつくりたい。コロナ禍から学び、踏み出す新しい一歩です。そんな思いをこめて、この12年間の、みなさまと一緒に振り返りたいと思います。  
 心からの感謝とともに。  
 みんなで頑張った誇りとともに。  
 あふれる希望とともに。



2010年4月7日新聞掲載

岡崎ビジネスサポートセンター  
**高嶋舞さん**

招き猫マドレーヌを早くから見初めて、県と森ビル都市企画につなげて出店の道筋を作ってくださいました。ご紹介くださったJAぎふの商品開発企画がその後のかりんとうの飛躍につながりました。



アートワーク  
**篠田芳彦さん**

岐阜の新しい手土産というコンセプトで、開店を全面的にサポートしてくださいました。篠田さんが描き起こした100枚以上のスケッチから、あの猫のキャラクターが生まれました。



amid  
**荒川真由美さん**

「いぶき商品」づくりは荒川さんとの出会いから始まりました。かりんとうのブランディングをはじめ、モノづくりの心構えから学びました。常滑とのつながりから招き猫マドレーヌが誕生。りすのほっぺのブランディングにも協力いただきました。



## はじまりと結び目

ねこの約束がはじまったから、ひろがったいぶきの夢。そのはじまりとひろがりの中には多くの方たちと紡いだ物語がありました。

森ビル都市企画アクティブG運営室  
**吉岡正博さん**

「ねこの約束が岐阜駅のここにあることに意味がある」と開店時からずっと支え続けてくださいました。県内の障害のある人の就労支援に協力したいとモール内で「ふれあい福祉マーケット」を共催し続けてくださいました。



杉山製作所  
**島田亜由美さん**

百々染の価値を広く伝えて、福祉の枠を超えた岐阜県内ものづくりの人たちとのつながりを作ってくださいました。ショップの鉄の什器もご提供くださいました。



ツバメヤ  
**岡田さや加さん**

いぶきのお菓子の代名詞でもあるかりんとう。お二人との出会いが「大地のかりんとう」につながり、いぶき全体のものづくりの姿勢への評価と信頼が一層高まりました。



澤田酒造  
**澤田薫さん、澤田英敏さん**

常滑の大吟醸の招き猫マドレーヌがご縁の始まり。梅酒「白老梅」の実を活かしたジャムづくりから「りすのほっぺ」へとつながりました。



山本佐太郎商店  
**山本慎一郎さん**



### ねこの約束、12年のあゆみ 数字と物語

岐阜駅直結の手土産として、人々とのかかわりや様々な物語がありました。記録で振り返ります。

来店者数(おおよそ) **62,280人** (年平均5,190人)

年間売上平均 **6,540,000円**

1日最高売上 **162,790円**  
 (2018年12月1日 FC岐阜クリスマスフェスタ)



「ここは何のお店?」「ねこの...、ペットショップ?猫のおやつを売ってるの?」そんな声がよく聞かれました。そのうち、「えっ?あのお店っていぶきがやってるの?」そんな人も増えてきて。「福祉施設がやってるお店だとは思わなかった」と言ってもらえるように。



リすのほっぺアンバサダー サックス奏者の粥川つ紀さん



初期スタッフと。ねこの約束とともに成長していった職員の息子さん



お買い物を楽しむ仲間たち



納品はたのしいお仕事



ワークショップではお客様とおしゃべりが楽しくて



周年祭は毎年恒例イベント



ガチャ機でくじ付き張り子販売



お子様に大人気でした!



クラフトフェアで賑わう店内



FC岐阜の観戦チケット販売

《すべての人を大切に》  
 「落とし物ひろったんですけど」「トイレはどこに?」など、館内で困った人の窓口。いぶきのホスピタリティはねこの約束でも。後日わざわざお礼に来られる方も。ほっと嬉しくなる瞬間はたくさんありました。



みんなに惜しまれながら



12年間、ご愛顧いただき本当にありがとうございました!



たくさんのメッセージに感動



# ねこの約束がくれた あたり前

永田 和樹

## シゴトは楽しいの？辛いなの？

仲間や職員にとってシゴトは楽しく嬉しい反面、辛くて嫌な面もあります。忙しくなると、「もう作りたくない」と思わず口にする仲間も。そんな仲間や職員を支え、シゴトの意味を教えてくれたのも、ねこの約束でした。

## 商品の向こう側

ねこの約束から「売り切れで、お客さん残念そうだったよ」と教えてもらって、「じゃあ、もっとたくさん作らない」と自然に思えました。「今回の新作もお客さんに好評だよ」と教えてもらって、「開発、頑張ってたね」と自然に声を掛け合っていました。仲間は、ねこの約束から『自分が作った商品の向こうにはお客さんがいる』こと、『お客さんに喜んでもらえることはとても嬉しく、誇らしいことだ』と教えてもらったのです。そんな仲間を見て、職員も気がつきました。仲間たちに苦勞させるから辛いのではない、苦勞の先にある喜びを分かち合えていないことが辛かったのだと。みんなだって『苦勞した甲斐があった』と思いたいのだと。

## わたしたちの自慢のお店

仲間たちはいくつもの商品を生み出してきました。それがねこの約束で、丁寧に陳列されると、キラキラ光って見えました。そのたびに、「これでまたお客さんにも喜んでもらえるね」「これ、わたしが作ったんだよって誇れるね」そんな会話を繰り返しました。ねこの約束はそんな嬉しい、自慢の場所だったので、「どこで買えるの？」と聞かれたときに、「駅に行ったら、買えるよ」と言えることがみんなとても嬉しかったようです。



amid代表  
商品開発コーディネーター  
荒川 真由美さん

2001年より、いぶきのものづくりに本気で伴走いただいている荒川真由美さん。私たちと一緒に商品開発に情熱を注いでくださいました。真剣に向き合い、一切妥協しない姿勢からいぶきの商品が育ち、仕事への誇りも育ってきました。その歩みは「自分たちのつくる商品の価値を高めたい」という私たちの憧れを現実に取り寄せるものでした。荒川さんに、当時を振り返っていただきました。

# あの時の未来から、 新しい未来に向けて

『ねこの約束』がオープンしたのは、2010年4月6日。2007年2月20日、初めて招き猫マドレーヌが焼きあがった日から3年、泣きたくなるほど頑張っていたみなさんの努力が一段落し、私は少しいぶきさんから離れていた時期でした。お店をオープンさせる噂を聞いて「そこまで頑張ったんだあ」と感慨深かったことを覚えています。



評価用紙



チームごとのプレゼン風景

この2枚の写真。2001年7月10日から『勉強会』と称し「もしお店を自分たちで持てるとしたら、どんなお店で、何を売りたいか」というテーマで、ワークショップを半年行いました。1枚はそのプレゼンテーションの評価用紙（ヘッド部分）です。ターゲットユーザーとか、キャッチコピーとか、なれない言葉に一生懸命になっていました。もう一枚はよくご存知の方たちが初々しく、そのプレゼンテーションをしている写真。今から21年前のことです。あの頃の私たちに

は、『ねこの約束』という素敵なお店が持てるなんて未来、とても想像できませんでした。いぶきブランドの素敵なお店をいくつも開発できるなんてことも、夢のまた夢でした。もっと振り返れば、この勉強会も元々は「いいものが作りたいんです！」とセミナー後、名刺を持って走り寄ってきた真剣な瞳の訴えから始まりました。『ねこの約束』も『つなぐLab』も、こんな遠い日の勇気の一步がスタートです。人が変わり、会議の質が格段に成長しても、「いいものが作りたい！」というみなさんの思いは、今も昔もずっと変わらない。会議のたびにそう感じています。今『ねこの約束』の閉店を越え、『ねこの約束、第2章』が始まったのです。今度はどんな未来が待っているのでしょうか。ここからまた10年、20年経った時に振り返って、「頑張ったもんね」と笑いあえる。新たな勇気の一步がまた、素敵なお店を連れてきてくれることを心から願っています。



サイトビーとカーネーション。花言葉は「お別れ」ですが「新たな旅立ちを祝う」意味のある花言葉だそう。私が『ねこの約束』のためにできた最後のお仕事です。

持っていたお花に仲間が書いてくれた「あ・り・が・と・ね」をセットしているところ。

## “シゴト” その先にある“コト”

「いぶきさんって駅でのお店やってるんだよね?」「この果鈴糖って駅で売ってるやつだよ?」とねこの約束から、いぶきや商品を知ってくれる人が増えていきました。その中には、こんな商品を、こんなシゴトと一緒に試してみたいという人もありました。ねこの約束から始まった出会いは、いつしかお店という枠を超えた多様なつながりへと広がっていったのです。

ねこの約束があったから、たくさんのお客さんがあって、たくさん支えてもらって、たくさん教えてもらいました。それは仲間にとって、とても幸福な時間でした。ねこの約束は仲間たちに「シゴトの先には幸福がある」、そんなあたり前をつくってくれたのでした。

ねこ  
焼きました!



作業風景

## ねこの約束最終日

新聞掲載の影響もあり、連日多くのお客様で賑わって、招き猫マドレーヌは販売個数を制限するほど大変な状況でした。最後の1日を振り返ります。

と翌日

### 《10:00開店》

ショップスタッフ3人体制で、いつもの時間にいつものように営業が始まりました。



### 《ごあいさつ》

アクティブG運営室をはじめ、お世話になったお店を訪ねてご挨拶させていただきました。



### 《掲示板》

来店くださった方々からたくさんのあたたかいメッセージをいただきました。



### 《インタビュー》

TV局取材の様子。仲間もインタビューを受けました。



### 《19:00閉店》

長年携わってくれたスタッフに感謝を伝えました。全ての業務が終わり店長が鍵をしめました。



### 《翌日》

仲間と一緒にお店に集まり、感謝を込めて綺麗に磨きあげました。



## いぶき福祉会の 目指すものと 協働のかたち

いぶき福祉会は、障害のある人とその家族のねがいから生まれ、私たちはそのねがいに丁寧に寄り添い、尊厳と人権を守りつづけてきました。その営みが、いぶきの枠組みを超えて人と人を結び、共感と協働をうみ、誰もが安心して暮らせる寛容な社会の実現につながると考えています。そのプロセスをみなさんとともに創っていきたく思います。



## いぶき福祉会の 活動を支えるお金

社会福祉法人の基本的な運営費は公的財源でまかなわれます。しかし、わたしたちの目指すものを実現するには、十分ではありません。寄付や会費は活動の推進力になります。多額の資金が必要な施設や備品、車両などが整備でき、その分運営費を仲間の活動や職員体制の充実にあてることが出来ます。地域協働を積極的に展開できるのも、こうした財源のおかげです。また、運営費は仲間の給料財源にはできません。そのため、仲間が生産や販売などで関わる事業をより魅力あるものにし、仲間の給料を増やせるよう努力を重ねています。

**1 公的財源**  
(国の定める基準による運営費)

国・自治体からのサービス給付

↓

日中活動支援   暮らし相談支援   地域交流

- 職員人件費
- 利用者支援に伴う費用
- 施設の維持管理費など

**2 寄付や会費**

いぶきファミリー会費  
助成金、寄付、GHHP  
クラウドファンディング  
広告協賛

↓

- グループホームの新築や修繕
- 仲間の活動や仕事に関わる設備や環境整備
- 送迎車両の購入
- 地域との交流や協働や学習
- 働きやすい職場づくり

**3 事業収益**  
(仲間が生産・販売などに関わる)

- ねこの約束
- ネットショップ
- バザー
- クラウドファンディング
- 定期購入

↓

仲間の給料 **増やしたい!**

※GHHP:ぎふハッピーハッピープロジェクト(P12)

## いぶきの活動 その1

# いのちと生活を支える

- グループホーム
- ショートステイ
- ホームヘルプ
- 相談支援

おいしい空気を胸いっぱい吸い込んだり、楽しくおしゃべりしたり、好きなところにてかけてみたりすることが、自分だけでは難しい仲間たちもいます。だから私たちは、ひとりひとりのねがいに丁寧に寄り添いながら、安心できる居場所や支えてくれる人がいる暮らしをとともに作ります。



エンディングノートのインタビュー



第1回防災デー



グループホームお疲れさま会

### トピックス

- ガバメントクラウドファンディングを活用して、「わが子の幸せをたくすエンディングノートプロジェクト」の実施
- 防災デー開催
- 「親心の記録」の作成や親なき後学習会の実施
- 新型コロナウイルスの施設内での発生と対応

### こんな1年でした

新型コロナウイルスに伴う閉所や外出の制限などの対策をしながらの生活でした。2月には法人の関係者で19名が罹患するクラスターが発生したことをはじめ、仲間、職員、家族が幾度か感染することがありました。そのような中で、仲間や家族が高齢になる中でも安心して過ごしていけるように「わが子の幸せをたくすエンディングノートプロジェクト」と題してクラウドファンディングに取組み、親なき後の問題について考えました。

### なかまのすがた

## いのちと生活を支える

伊藤 慎悟

仲間たちも、いぶきの歴史と共に歳を重ね、高齢者といわれる方が増えています。その中で私たちはいくつもの別れを経験してきました。2021年の夏、開設当初からグループホームを利用していた仲間が体調を崩し、入院することになりました。その時、医師から伝えられたのは「もう回復の見込みはない」という言葉でした。それでも私たちは、これまで長い時間を共に過ごした仲間の元に戻ってきてほしいと願いました。彼女もそうしただろうと思います。しかし、いぶきには医療の体制が整っていないことから、みんなの元に戻ってくることはできませんでした。



グループホームでわきあいあいと



旅行の記念写真

彼女はいぶきが無認可の時代から毎日を楽しんで過ごしてきました。高齢になっても、私がホームを訪ねると、お茶と笑顔でもてなしてくれる優しい方でした。これからもまだ一緒にいられると思っていた。しかし別れは突然におとずれ、いのちと生活を支え続けていくことの難しさを痛感しました。仲間が人生の終わりに向かうとき、何を選択し、どう寄り添うべきなのか。今後、この課題に法人として向き合っていかなければならないと思いをあらたにしました。

いぶきの活動 その2

## 思いを育み、役割を作る

- 生活介護 ● 就労継続支援B型 ● 放課後等デイサービス

工房でモノづくりをしたり、楽しく表現したり、畑仕事や販売まで、ここにはいろんな活動があります。役割があり、ともに取り組む仲間がいて、安心して自分の気持ちを出せる居場所があります。社会の一員としての誇りを感じ、障害年金と合わせれば暮らしていけるだけの給料の実現も目指します。



発送作業も手馴れてきました



紙漉き作業風景



毎年恒例おもちつき

### トピックス

- ありがとねバスケットプロジェクトの実施
- オンライン工房ライブの実施
- Kouzo Gifu にていぶきweek開催
- 定期購入「tabita」便のはじまり
- 新規取り扱い店
  - ・JAぎふ 山県ばすけっと
  - ・コープぎふ長良店
  - ・長良川デパート

### こんな1年でした

クラウドファンディングやオンライン見学会では、応援してくださる方と利用者との間で、画面越しのおしゃべりやお便りの行き来がうまれました。仕事がひろがると同時に、商品の先にいる人とつながることが、社会の中でかけがえのない存在として自分たちの存在を確認する貴重な機会となりました。その経験が、定期購入「tabita便」の取り組みや、「ねこの約束」を閉店して新しい形を目指すことにつながりました。



壁新聞ができました



リニューアルした長良川デパートへ納品

### なかまのすがた

#### 仲間の熱い思いから広がる世界

河波 宏実

染めの仕事は、まず染めの原料となる草花を探すことから始まります。草木染工房「いろどり」の仲間は地域に出かけて様々な種類の草花に触れることで、豊かな自然を味わい、季節を感じながら取り組んでいます。ある日の仲間との会話で、「私たちの百々染(草木染ブランド)は、どこでどんな風に販売されているのだろう?」という話が出ました。それがきっかけとなり、百々染の商品を取り扱っていただいているショップの写真を集めて壁新聞をつくり、店舗ごとに置かれている商品がわかりやすいように貼り出しました。

しばらくして、仲間と一緒に長良川デパートさんに納品に行く機会があり、実際に自分たちの商品がどんな場所でお客さんの手に届くのかイメージができました。仲間たちは、店員さんから「肌触りが心地よいストールですね」とお客様の声を聞かせてもらうことができ、帰ってからとても嬉しそうに伝えてくれました。仲間たちが一からつくり上げる百々染。染めの仕事への熱い思いが、想像力をかき立て、みんなに伝えたい気持ちが、世界を広げています。

いぶきの活動 その3

## つながり、価値を創る

- いぶきファミリー ● ねこの約束 ● 各種プロジェクト

いぶきは新しいモノやコトや場を次々と生み出しています。そこは人と人が出会う場所でもあります。障害のあるなしにかかわらず、新しい協働が生まれ、ただ楽しくてもっと繋がりたいと思える場です。多様な役割を担いあえる多様な人の集まりはとて寛容で、新しい価値はそんな場所から生まれます。



ハッピーウォーク・オンライン中継しました



ハレバレごはんプロジェクトお弁当のお渡し



パストラルいぶきにて法人設立1万日感謝の集い

### トピックス

- 岐阜希望が丘特別支援学校生徒と気球体験の実施
- 第1回ぎふハッピーウォーク開催
- 法人設立1万日感謝の集い開催
- ぎふハッピーハッピープロジェクトの実施
- ハレバレごはんプロジェクトでひとり親家庭にお弁当をお届け
- コミュニティガーデンプロジェクトの実施
- ねこの約束JR岐阜駅閉店

### こんな1年でした

いぶきふれあいまつりにかわり、ぎふハッピーウォークを開催。ぎふハッピーハッピープロジェクトを継続して寄付活動に取り組みました。様々な公益的の事業をしながら、協力していただける方々とともに地域の中で相互に活動し、寛容で住みやすい地域社会の実現を目指しました。

### 活動レポート

#### 地域協働でサステナビリティ

星場 真希

放置竹林をなくすために、環境保全や竹の利活用、体験イベント開催などの啓発活動をされているNPO法人竹林救援隊さんと楽しいことを始めて2年になります。竹林整備で採れる処分予定の幼竹でメンマを作りたい。せっかくだから何か一緒にできないか?とお声掛けいただいたのが始まりでした。竹林に行くとし販されているものとは違う180cmほどに成長した幼竹の大きさに目を見張りました。竹林を吹き抜ける爽やかな風が心地よく、大きな筍を運んだあとは、達成感に自然と笑みがあふれていました。



幼竹の皮むき作業

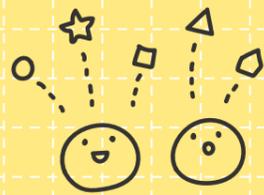


竹林救援隊の方と

その後、筍を塩蔵してオリジナルの味付けをし、メンマに加工していきます。「おいしくなあれ!」と声を掛けながら何度もかき混ぜ、手塩にかけて出来上がったメンマを前に仲間にはちょっと誇らしげ。地域の環境課題に楽しく美味しく取り組み、サステナブルな社会へ仲間たちと一緒に寄与していけることを嬉しく思います。これからもこのご縁をきっかけに、色々な楽しいことができたらいいなと考えています。



完成したメンマ



## 新たなつながりと、生まれたプロジェクト

たくさんのつながりのなかで対話が生まれ、私たちや地域を支える大きな力となっています。



### 4月 1月 Kouzo Gifu いぶきweek開催

昨年、ひとり親家庭や医療従事者に自然栽培の野菜を使ったお弁当をお届けした「ハレバレごはん」で協働いただいたKouzo Gifuさんとの取り組みを本年もいぶきweekとして行いました。店内でのパネル展示や、商品販売、いぶきの野菜を使ったランチ、ひとり親家庭へ弁当のお渡し（103食）、農福連携弁当販売（県庁）など行いました。企画を通じて、様々な方へ自然栽培の野菜を楽しく、美味しくお届けしました。



### 11月 おっぱら夢組合 気球体験

コロナに負けずにありがとうをひろげるクラウドファンディング「ありがとうバスケット」。381名の方にご参加いただき、その返礼品のひとつの「気球体験」をおっぱら夢組合さんと協働で開催しました。岐阜希望が丘特別支援学校の会場をお借りして生徒さんたちも招待。気球の迫力に驚きつつ、ふわふわとした乗り心地と、一気に上昇するスリルと感動を分かち合いました。



### 10月 エンディングノート プロジェクト開始

障害のある我が子と暮らす親の不安を少しでも解消できればと、「親なき後問題」を取り上げ、岐阜市ガバメントクラウドファンディングの仕組みを使って『わが子の幸せをたくすエンディングノートプロジェクト～障害者の「親なき後」のためにできること～』と題して寄付募集と親なき後について考える取り組みを行いました（事業実施は2022年度）。226名からご参加いただき、親なき後について法人の内外で考える活動がはじまりました。

partner's  
パートナーズボイス  
VOICE

いぶきとともに、  
歩んでくださる方々に  
思いを語って頂きます。

No.001

FC岐阜  
林 幹広さん



## 「スポーツ×福祉」の接点を大切にしたい

今年、FC岐阜は2008年にJリーグに加入してから15周年を迎えます。これまで多くのファンやサポーター、スポンサー、ステイクホルダー、県民の皆さまなど、たくさんの方にご尽力とご支援をいただきました。本当にありがとうございます。いぶき福祉会の皆さまにも心よりお礼申し上げます。実は、私といぶき福祉会さんの出会いも2008年でした。当時、ある企業様のご紹介で北川さんと出会い、まさに意気投合。FC岐阜が目指す地域に密着した愛されるチームと、いぶき福祉会さんが目指す地域に根ざした福祉が合致した瞬間でした。私自身、プロスポーツの業界で仕事をしてきたのですが「スポーツと福祉」という視点で何かできないかと思っていた時期でした。



いぶきふれあいまつりにて握手会とサッカー体験

招き猫マドレーヌを届けてくださる仲間たち

「スポーツ×福祉」はとても大きな相乗効果を生みだすことも経験しましたし、お互いに社会になくはならない存在として活動を続けることが重要だと思っています。Jリーグのチームとして、一緒に活動をさせていただくことで、地域のために何ができるのか？ということを追いつめながら、これからも、いぶき福祉会の皆さまと一緒に「スポーツ×福祉」というテーマに楽しく取り組んでいければ嬉しいです。



同じ会場で出店されていたいぶき福祉会さんのブースにて

その後は、いぶき福祉会の皆さんと様々な取り組みをさせていただきました。仲間の皆さんが心を込めて作った「招き猫マドレーヌ」を試合時にトップチームの選手やスタッフにご提供いただいたり、クラブのサブライナーになっていただいたり、ショップ「ねこの約束」でクラブのPRやグッズを置いていただいたり、「いぶきふれあいまつり」にお邪魔したり、「コラボタオルマフラー」を販売したり...。そうした活動がいぶき福祉会さんとの関わりを通じて、私自身、福祉に対する考え方や理解が深まっていきました。



2019年開幕式の前に、招き猫マドレーヌの贈呈セレモニー。

FC岐阜×ねこの約束の  
タオルマフラーだよ



## 寄付つきプロジェクトでいぶきを応援 ぎふハッピーハッピープロジェクト

寄付金は、グループホームの建設や相談支援の拡充や、障害のある人のいのちと生活を支える活動、いぶきが地域で新しい協働を生み出す活動に活かされます。2021年度は、あらたに4社のみなさまにご登録いただき、計6社との新しいハッピープロジェクトがはじまっています。



2022年3月9日、メディアコスモスにて覚書き調印式、交流会

### ぎふグッドパートナー プロジェクト

藤垣会計事務所

お客様に寄り添い、ともに悩み、喜びを分かち合い、笑顔になれる関係を築くという行動規範を掲げる藤垣会計事務所。主催するセミナーや未来の会の参加費、お客様の顧問料などの収入の一部が、寄付されます。

### ハッピーホームページ制作 プロジェクト

株式会社リービー

可能性をひらくデザインでしあわせな毎日をつくることをミッションに掲げるウェブ制作会社。インターネットを活用した地方創生の支援に取り組んでいます。ウェブサイト制作の売上の一部が寄付されます。

### 「ハナレ」で夢と未来を つなげるプロジェクト

一新建設株式会社 At Hearth

「地域の皆様に喜ばれる家をつくろう」という思いで、「安心・安全」な家づくりに取り組むAt Hearth（アットハウス）。レンタルスペース「ISSHINハナレ」の利用料とワークショップの売上の一部が寄付されます。

### 未来を想い描ける ミニチュアプロジェクト

株式会社和模型工房

見えないところ、モノ、流れを見えるようにするのが模型の真髄です。模型を通じて見えてくる、広がる未来の暮らしや風景、そこから生まれる「笑顔」を大切にしたい会社です。模型の売上の一部が寄付されます。

# 数字で見るいぶき

2021年度のいぶきの活動を象徴する数字を集めました。

オリジナル商品の数  
**45品**  
(昨年度:36品)

利用者平均給料  
(月額)  
**14,023円**  
(昨年度:14,104円)

商品の売上金額  
(法人全体)  
**35,286千円**  
(昨年度:32,269千円)

寄付金額  
(法人全体)  
**5,906千円**  
(昨年度:5,093千円)

仕事の  
パートナー数  
**60**  
(昨年度:55)

ファミリー会員数  
(賛助会員)  
**650人**  
(昨年度:964人)

メルマガ  
登録者数  
**1,960人**  
(昨年度:2,025人)

2021年度末

## 2021年度財務報告 2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

| 勘定科目                               |                           | 当年度決算(A)    | 前年度決算(B)    | 増減(A)-(B)  |
|------------------------------------|---------------------------|-------------|-------------|------------|
| サービス活動増減の部                         | 収益                        |             |             |            |
|                                    | 就労支援事業収益                  | 35,286,573  | 32,269,171  | 3,017,402  |
|                                    | 障害福祉サービス等事業収益             | 723,355,424 | 705,579,761 | 17,775,663 |
|                                    | うち 計画相談支援給付費収益            | 8,759,407   | 7,985,297   | 774,110    |
|                                    | 利用者負担収益                   | 46,014,527  | 46,274,600  | ▲260,073   |
|                                    | 経常経費寄附金収益                 | 5,906,498   | 5,093,600   | 812,898    |
|                                    | サービス活動収益計(1)              | 764,548,495 | 742,942,532 | 21,605,963 |
|                                    | 費用                        |             |             |            |
|                                    | 人件費                       | 539,293,171 | 530,724,527 | 8,568,644  |
|                                    | 事業費                       | 77,293,878  | 78,225,282  | ▲931,404   |
| 事務費                                | 74,904,334                | 85,109,164  | ▲10,204,830 |            |
| 就労支援事業費用                           | 38,673,751                | 36,215,872  | 2,457,879   |            |
| うち 利用者工賃                           | 24,794,176                | 25,386,877  | ▲592,701    |            |
| 減価償却費                              | 37,268,560                | 37,465,185  | ▲196,625    |            |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額                     | ▲16,697,326               | ▲16,678,156 | ▲19,170     |            |
| サービス活動費用計(2)                       | 750,736,368               | 751,061,874 | ▲325,506    |            |
| サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)              | 13,812,127                | ▲8,119,342  | 21,931,469  |            |
| サービス活動外増減の部                        | 収益                        |             |             |            |
|                                    | 受取利息配当金収益                 | 3,188       | 6,322       | ▲3,134     |
|                                    | その他のサービス活動外収益             | 11,992,311  | 10,475,357  | 1,516,954  |
|                                    | サービス活動外収益計(4)             | 11,995,499  | 10,481,679  | 1,513,820  |
|                                    | 費用                        |             |             |            |
| 支払利息                               | 338,882                   | 430,534     | ▲91,652     |            |
| その他のサービス活動外費用                      | 121,200                   | 0           | 121,200     |            |
| サービス活動外費用計(5)                      | 460,082                   | 430,534     | 29,548      |            |
| サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)             | 11,535,417                | 10,051,145  | 1,484,272   |            |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6)                  | 25,347,544                | 1,931,803   | 23,415,741  |            |
| 特別増減の部                             | 収益                        |             |             |            |
|                                    | 施設整備等補助金収益                | 0           | 0           | 0          |
|                                    | 施設整備等寄附金収益                | 0           | 0           | 0          |
|                                    | 固定資産売却益                   | 0           | 22,000      | ▲22,000    |
|                                    | 特別収益計(8)                  | 0           | 22,000      | ▲22,000    |
|                                    | 費用                        |             |             |            |
|                                    | 基本金組入額                    | 0           | 0           | 0          |
|                                    | 固定資産売却損・処分損               | 4           | 116,691     | ▲116,687   |
|                                    | 国庫補助金等特別積立金積立額            | 351,000     | 2,533,000   | ▲2,182,000 |
|                                    | その他の特別損失                  | 119,162     | 223,992     | ▲104,830   |
| 特別費用計(9)                           | 470,166                   | 2,873,683   | ▲2,403,517  |            |
| 特別増減差額(10)=(8)-(9)                 | ▲470,166                  | ▲2,851,683  | 2,381,517   |            |
| 当期活動増減差額(11)=(7)+(10)              | 24,877,378                | ▲919,880    | 25,797,258  |            |
| 繰越活動増減差額の部                         | 前期繰越活動増減差額(12)            | 226,350,471 | 228,192,716 | ▲1,842,245 |
|                                    | 当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12) | 251,227,849 | 227,272,836 | 23,955,013 |
|                                    | 基本金取崩額(14)                | 0           | 0           | 0          |
|                                    | その他の積立金取崩額(15)            | 0           | 8,298,116   | ▲8,298,116 |
|                                    | その他の積立金積立額(16)            | 20,994,076  | 9,220,481   | 11,773,595 |
| 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16) | 230,233,773               | 226,350,471 | 3,883,302   |            |

就労支援事業収益:  
かりんとうやジャム等の商品を置かせていただく場も増え、コロナ禍での減少を少しずつ取り戻しています。「ありがとねバスケットプロジェクト」で381人の方々から3,646,000円の応援をいただきました。

障害福祉サービス等事業収益:  
コロナ感染拡大防止のための閉所は計15日間。利用者減もありました。通所事業所の開所日を3日追加したり、閉所時の在宅支援(代替サービス)により収益を維持することができました。

人件費:  
人件費率は70.5%。職員の定期昇給や賞与支給は例年通り実施しました。さらに国の処遇改善臨時特例交付金で2022年2月分から常勤及び定時職員の給料アップにも取り組みました。

事務費:  
社会活動(人や物の動き)の形が大きく変わり、旅費交通費消耗品費等も減額しています。施設の改修やコロナへの対応で大きく膨らんだ前年度からは例年通りに戻っています。

就労支援事業費用:  
商品の材料費や消耗品費、利用者工賃等が含まれています。就労支援事業収益は改善していますが増減差額は▲3,387,178円。更なる取り組みが必要となっています。

利用者工賃(給料):  
法人全体の利用者平均工賃は月額14,023円。利用者の入れ替わりもあり、昨年度より▲81円。2年連続の減額となりました。給料は活動の社会的価値への対価です。給料と年金で生活する利用者もいます。障害年金(1級81,343円、2級65,075円、月額)と合わせて10万円の所得をめざします。

サービス活動増減差額:  
減価償却費や棚卸資産額等を含めた増減差額です。昨年度はマイナスでしたが、今年度は改善してプラスとなりました。

その他のサービス活動外収益:  
職員の給食費等に加え、「ありがとねバスケットプロジェクト」の他団体との協働プロジェクト(気球・お弁当・フットゴルフ)への支援分も計上されています。

経常増減差額:  
総合的な収益性を表しています。今年度もプラスとなりました。

国庫補助金等特別積立金積立額:  
SDGs推進ネットワーク連携促進補助金で備品や建物改修を行いました。固定資産分を計上しています。

当期活動増減差額:  
2021年度の業績を表しています。昨年度はマイナスでしたが、今年度は改善してプラスとなりました。

その他の積立金積立額:  
老朽化した建物や設備の修繕、将来の施設整備およびグループホームの改築修繕のために積み立てました。

※紙面の都合上こちらには掲載できませんでしたが、貸借対照表・資金収支計算書・財産目録は、当法人のWEBサイト(<https://ibuki-komado.com/about>)に開示しております。



事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。又、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2022年6月7日 監事:早野 幸広 監事:井川 俊二



## 2022年度の取り組み

仲間やその家族の高齢化が急速に進み、支える家族や職員の環境も変わる中、誰もが安心して暮らせる、寛容な社会の実現をめざし、日々の丁寧な実践、ともに地域をつくる多様な人たちとの協働を、着実にすすめる一年にします。

### 1 いぶきの活動 その1 いのちと生活を支える

新型コロナで外出などの制約がある中で、暮らしの質を維持向上を図りつつ、「エンディングノートプロジェクト」などを実施しグループホームや高齢化の対応をともに考え、暮らしの基盤づくりに取り組みます。

一人ひとりのニーズと今まで以上に丁寧に向き合い、必要な支援で生活を支えていくため相談支援部門を増強します。

親心の記録を作成し、学習会等を重ねることで、親なき後の課題について当事者や関係機関とともに課題の共有と解決方法を検討していきます。(エンディングノートプロジェクト)

利用者の家庭環境の急変に備え、グループホームや制度について研究、検討をしていきます。

### 2 いぶきの活動 その2 おもいを育み役割を作る

一人ひとりがかげがえのない役割を担う日々の営みを丁寧に伝え、共感しあえる豊かな関係づくりに取り組みます。コミュニティの人たちからの注文に応じて丁寧に生産する仕事を中心に、やりがいと誇りと給料につながる活動をつくります。

4月から新設稼働する岐阜市リサイクルセンターのペットボトルの選別業務を受託し、地域のリサイクル事業を担っていきます。

日中活動では製菓から農業、アート活動まで幅広く取り組みつつ、利用者の高齢化、障害の多様化に沿って、仕事のあり方の見直しを進めます。

昨年度実施したクラウドファンディングの経験を活かした定期購入「tabita便」を開始します。

### 3 いぶきの活動 その3 つながり価値を創る

法人の公益的な取り組みを積極的に展開し、地域の団体と協働の関係を深めます。また、いぶきの取り組みに参加・協力していただける個人・団体を増やしていき、寛容な地域社会づくりを進めます。

地域交流「ぎふハッピーウォーク」、「コミュニティガーデン」、「ハレバレごはん」など地域住民が参加でき、地域団体と協働できるプロジェクトを引き続き実施します。

会報「夢よもっとひろがれ」(現在1500部発行)、ホームページ「いぶきの小窓」、ネットショップ「イブキスタイル」「えんがわmarche」、年次報告書を通じていぶきの活動を発信し、双方向・網の目状のコミュニティをつくります。

## いぶきを応援



障害のある人の活動を支えつつ、つながりの深い社会づくりに参加しませんか？  
みなさまのご支援、ご協力をお願いします。



ibuki-engawa.com

### ご寄付 個人・団体

全額、障害福祉の現場で活用されます  
◎団体・法人：1口10,000円  
◎個人：1口1,000円  
※何口でもお選びいただけます。  
ご寄付のお申込みは、直接受け取りや、振込みでもお受けしております。ご希望の方はご連絡ください。

### 商品のご購入

お得な送料無料商品もあります。



### マンスリー会員 いぶきファミリー

月々定額の会費で、いぶきの活動を継続的に応援する仕組みです。

1口：250円・500円・1,000円  
※何口でもお選びいただけます。  
郵便振替、銀行振込(年払い)もお受けしております。ご希望の方はご連絡ください。

### 楽しいおいしいで応援 定期購入『tabita便』

障害のある人の『働きたい』を継続的に応援する仕組みです。からだに優しい安心なお菓子やジャム、お茶などを詰め合わせてお届けします。

①定期便：1回2,000円  
サイクル：1ヶ月～3ヶ月

②全2回：10,000円  
お届け：6月・12月

お届け先の変更や、お好みの商品をリクエストいただくことも可能です。

ご不明な点などございましたらお気軽にご連絡ください。

TEL:058-233-7445 平日:9:00~17:00  
メール: ibuki.m@ibuki-komado.com  
いぶき福祉会法人本部

### 法人のみなさま

## ぎふハッピーハッピープロジェクト 寄付つきプロジェクトで応援

売上げの一部が誰もが幸せを感じられる地域づくりに役立てられる「寄付つきプロジェクト」を一緒に考えてみませんか？社会貢献が貴社の商品やサービスの販売促進にもつながります。※詳しくは、WEBサイトでご確認ください。



### 法人のみなさま

### 個人のみなさま

## 一緒に楽しんでください

- ①日々の活動の様子をSNSやホームページでご覧いただけます。いいねやシェアが励みになります。
- ②ネットショップ『えんがわマルシェ』や『イブキスタイル』にていぶきの商品購入。
- ③一緒に商品開発をしたり、イベントを開催したり、できることを持ち寄って、ともに地域や福祉を盛り上げていただけませんか？



法人サイト



イブキスタイル



えんがわマルシェ

本誌発刊にあたり、ご協賛くださったみなさま

|   |  |  |
|---|--|--|
|  <p>食品や雑貨などをご自宅までお届けします。<br/>コープベル <b>0120-706-887</b></p>   | <p>人権尊重と非営利</p>  <p>社会福祉法人<br/><b>みどり福祉会</b></p> <p>〒501-3113 岐阜市北山1丁目15番25号<br/>TEL:058-244-1210</p> | <p>有限会社<br/><b>車屋商店</b></p> <p>プロパンガス・ガス器具・米・灯油</p> <p>TEL: 058-229-1321</p>   |
| <p>DUNKSOFT</p>  <p>40th anniversary</p>   | <p>KYOKUTO</p> <p>極東サービスエンジニアリング株式会社</p> <p>代表取締役 山根 哲</p> <p>〒140-0002 東京都品川区東品川3丁目15-10<br/>TEL.03-5781-9833</p>   |  <p>句書 kuseu</p> <p>https://ku-gu.com</p>  |
| <p>ONE STEP</p>  <p>オリジナルオーダーパソコン販売・ホームページ制作<br/><b>株式会社ワンステップ</b></p> <p>〒500-8356 岐阜市六条江東1丁目1番3号<br/>TEL.058-214-8505 FAX.058-214-8155</p> |  <p>NPO法人 ORGAN<br/>岐阜市湊町45<br/>TEL 058-269-3858</p>   | <p>GARAGE</p> <p>株式会社<br/><b>岐阜ガレーヂ</b></p> <p>本 社：岐阜市京町2-12 TEL058-265-0301<br/>岐阜市湊町45<br/>第二工場：岐阜市黒野南1-84 TEL058-239-3541</p>   |
| <p>未来の福祉社会の設計へ・・・<br/>ICS は福祉システムを通じて、<br/>広く社会に貢献したいと考えております。</p> <p><b>株式会社 ICS</b></p> <p>アイシーエス姫路市ウエルフェア株式会社<br/>《重度障がい者多数雇用モデル事業所》厚生労働省認定<br/>TEL.079-235-0066 URL: http://www.ihw.co.jp</p>                             | <p>そなえてあんしん<br/>ものための安全装備</p> <p><b>株式会社 三陽商会</b></p> <p>岐阜支店 岐阜市真砂町4-15<br/>TEL.058-267-6556 FAX.058-267-6557</p>   | <p><b>DUSKIN</b></p> <p>喜びのタネをまこう</p> <p>株式会社 ダスキン長良</p> <p>TEL.058-232-4147</p>   |
| <p>杉山製作所</p> <p>鉄家具 アイアン建材 コンタクト家具 店舗什器<br/>501-3829 岐阜県関市旭ヶ丘3-13<br/>tetsukagu.jp kebin.jp info@kebin.jp</p>   | <p>福祉を切り口とした<br/>調査・計画づくり・出版など</p> <p><b>株式会社エディケーション</b></p> <p>https://edication.jp</p>  | <p>MAtrust</p> <p><b>MAトラスト株式会社</b></p> <p>代表取締役 CEO 浅野 真</p> <p>TEL 03-5564-5122<br/>東京都千代田区内神田2-7-9 浅野屋ビル5F</p>  |
| <p>ココロかさなる</p>  <p>岐阜の身近なテレビとネット</p>   |  <p>大地のおやつ</p>  | <p><b>ORPHIS GL9730</b></p> <p>A4サイズ 片面フルカラー<br/>最速 <b>165</b> 枚/分 <b>1.44</b> 円/枚</p> <p>株式会社 <b>ジムブレーション</b></p> <p>本社・岐阜支店/〒500-8382 岐阜市藪田東2-8-13<br/>TEL 058-273-5566 FAX 058-273-1564</p> |

|  |  |   |
|--|--|---|
|  <p>食で培う、繋がりと安心、その先へ<br/>小ロット製造<br/>テストマーケティングのご支援<br/>食品自動販売機コーディネート<br/>シェアキッチン運営<br/>食の商品企画開発</p> <p>coneru<br/>大垣市郭町1-34 https://coneru.net</p> | <p>Total Car Service</p>  <p>有限会社ジーツー</p> <p>〒501-2601 関市武芸川町谷口1727-1<br/>TEL.0575-46-3816</p>  | <p><b>Smile Mi</b></p>  <p>株式会社 ミツオ</p> <p>愛知県名古屋熱田区新尾頭三丁目4番25号<br/>本社TEL.052-682-1603</p> |
| <p>悩まないでまず弁護士にご相談ください</p> <p>弁護士法人<br/><b>岐阜合同法律事務所</b></p> <p>TEL058-264-3780<br/>http://www.gifugodo.jp/</p>   |  <p><b>miyukidesign inc.</b></p>  | <p>FUDOSAN is FANTASTIC!</p>  <p>不動産</p>   |
| <p>ライオン業務用代理店</p>  <p>有限会社 <b>ヒロ-産業</b></p> <p>〒501-1136 岐阜市黒野南3-153-1<br/>TEL.058-234-0620</p> <p>LION</p>   | <p>生命保険・損害保険の代理店です</p>  <p>株式会社 <b>MIMAMORU</b><br/>—ミマモル—</p> <p>TEL(058)215-9137<br/>FAX(058)215-9138<br/>Email:mimamoru@kir.biglobe.ne.jp</p> |  <p>弁護士法人<br/><b>長良橋通り法律事務所</b></p> <p>岐阜市神田町1-10-2小森ビル<br/>TEL.058-262-5644</p>           |

HHP // ぎふハッピーハッピープロジェクト・いぶきパートナーのみなさま //

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>いつもの暮らしを心地よく</p> <p><b>LIMES</b></p> <p>DESIGN SQUARE</p> <p>家具・カーテン・雑貨・本</p>  |  <p>創業天保六年(1835)</p> <p>合資会社 <b>白木恒助商店</b></p> <p>TEL.058-229-1008</p>          | <p>未来を創造するための会計</p> <p><b>藤垣会計事務所</b></p> <p>税理士 藤垣 寿通</p> <p>TEL (058) 215-1030</p>   |
| <p>可能性をひらくデザインで<br/>しあわせな毎日をつくる</p>  <p><b>株式会社リーピー</b></p> <p>Web制作・人材紹介<br/>https://leapy.jp</p> | <p>一新建設株式会社</p> <p>災害時に避難所に行かなくてもいい家づくり</p>  <p>建築施工 ISHIN   建築設計 At Hearth</p> |  <p><b>和模型工房</b></p> <p>www.wamokei.com<br/>〒500-8286 岐阜市西橋3-65-1</p> |

発行日：2022年7月  
 発行人：横山文夫  
 編集責任者：北川雄史  
 制作：いぶきデザイン室 山本友美  
 協力：いぶきの仲間たち  
 連絡先：TEL.058-233-7445